

記入方法

2部提出

第1号様式（第11条関係）

水洗便所等改造資金融資あっせん申請書

提出日記入

令和 年 月 日

津久見市長 様

印鑑証明と同じ住所

申請者 { 住所 _____

氏名 _____

職業（勤務先） _____

TEL _____

申請者本人が記載してください

市内居住者で印鑑証明と同じ住所

連帯保証人 { 住所 津久見市 _____

氏名 _____

職業（勤務先） _____

TEL _____

連帯保証人本人が記載してください
【同一世帯不可】

実印を押印してください

水洗便所等改造資金の融資を受けたいので、あっせんして下さるよう申請します。

施工場所	津久見市		
工事予定期間	年 月 日から 年 月 日まで		
指定工事店名		確認申請番号	
建築物所有区分	1	記載不要 【上下水道課職員が記載します】	
区分			
予定工事費	円	円	融資あっせん額
融資対象工事費	円	円	
融資希望額	円	改造工事1件 400,000円 (ただし、工事費の範囲内)	
自己資金	円	円	円

申込金融機関名	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">申請者記入</div>	支店											
償還期間		1 12月	2 24月	3 36月	4 48月								
融資金振込承諾	<p>融資金は、私の排水設備工事を施工した指定工事店の口座に振り込むことを承諾します。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>金融機関</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">記載不要 【上下水道課職員が記入します】</td> <td>支店</td> </tr> <tr> <td>指定工事店</td> <td>号</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">承諾印 Ⓜ (金融機関届出印)</p>					金融機関	記載不要 【上下水道課職員が記入します】	支店	指定工事店	号			
金融機関	記載不要 【上下水道課職員が記入します】	支店											
指定工事店		号											
処理開始日	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p style="text-align: center;">記載不要 【上下水道課職員が記入します】</p> </div>												
工事完了日													
処理開始の日から						年以内	調査者印 Ⓜ						

- (注) 1 「太わく」内は記入しないでください。
- 2 この融資あっせん申請書は排水設備確認申請書と同時に提出してください。
- 3 金額等変更が生じたら変更申請（別紙様式）を提出してください。
- 4 印鑑は申請者、連帯保証人とも実印を押してください。

添付書類

- ◎ 申請者及び保証人の印鑑証明、市税完納証明書 市民生活課にて購入して下さい
- ◎ 信用委託契約書（第2号様式）
- ◎ 当該建築物が申請者の所有でない場合は所有者の同意書（別紙様式）
- ◎ 申請者が市民税の非課税世帯の場合は課税証明書

【ご注意ください】
この制度は市が融資のあっせんを行ないますが、実際の融資契約については各金融機関と締結するものです。
大分県農業協同組合については、完済年齢が70歳となっております。